

## 森林管理署や洋野町と連携し、児童への森林環境学習会を開催しました

### 1 はじめに

洋野町では、毎年、新緑が燃える初夏の風物詩である「久慈平岳山開き」を開催しています。

山開きでは、久慈平神社への参拝馬の行列や芸能交流祭などが行われ、地域の大切な恒例行事となっており、今年は、6月28日(日)に久慈平岳山頂広場と久慈平神社を主会場として開催されました。

林務部では、そのイベントの1つの林郷小学校の森林愛護少年団を対象とした森林環境学習会について、三陸北部森林管理署久慈支署と洋野町と連携して行いましたので、その取組を紹介します。

### 2 森林環境学習会

学習会では、久慈支署や町農林課、林務部の職員が、「森林の持つ働きについてのお話」や久慈地域の主要な樹種である「アカマツに関するお話」、原木しいたけや木炭といった「特用林産物についてのお話」を行った後、高学年の児童は、アカマツ小径木の丸太切り体験に挑戦し、低学年の児童は、お兄さんやお姉さんに切ってもらったアカマツ円盤を使ったコースター作りを体験しました。

丸太切り体験では、最初は恐る恐るノコギリを動かしていましたが、直ぐに慣れてみるみる上手くなっていきました。

体験した児童に感想を聞いたところ、「とても楽しかった」、「上手く切れてうれしかった」といった回答がありました。

コースター作りでは、紙やすりがけにより、コースターを仕上げる作業を行いました。児童達は競うように表面がツルツルになるまで

一生懸命仕上げ作業を行っていました。



高学年児童によるアカマツ小径木の丸太切り体験



低学年児童によるアカマツコースター作り

### 3 おわりに

私達林業普及指導員は、児童達と直接触れ合う機会は少ないですが、各種イベントでの木工体験などで、児童達と「木材に触れる機会」があります。

これまでの経験から、児童達は木材に触れる機会が少ないため、最初は木材の扱い方が分からず戸惑いますが、少しの手助けをすることによって「木材に触れることの楽しさ」を知ってもらえると感じています。これも林業普及指導員の大切な活動だと考えています。